

第1班 「あるべき姿」(理想・夢)と「現状」

理想・夢	現状	理想・夢	現状	理想・夢	現状
防災		人づきあい		自然	
蕪崎防災グッズがすばやく手に入る地域	旧役場が現在支給場所であり不便	秋祭りに地域住民の参加がほしい	まだまだ人数が足りない	夏は田んぼに行くとメダカやフナがいる	川がコンクリートで固められ、メダカ、フナがいない
防災に強い町	防災に対して弱い	公民館体育行事	地域住民の積極参加	耕作放棄地のない地域	荒れた田畑が多い
地域が連携して防災訓練を行える町	7自治会のうち3自治会しか自主防災会がなく、市の防災訓練しても自主防災会のある自治会しか参加していない	空き家の少ない町	空き家が少しずつ増えて今にも壊れそうな家がある	フナやどじょうのいる環境	池が無くなり自然が少ない
大震災時に家に残された時のグッズ(ハンマー、笛、スリッパ等)揃える	1人/3500円程度で手配できる為用意をしたい	隣近所で協力する(特に不幸ごと)	お通夜は親戚だけで、お七夜も親戚だけですます	豊かな蕪崎海岸	あさりの量より人の数の方が多い、1年とらないでほしい
地区内の防災活動に全員参加する	決まった人のみ出席する	自然に見合い等気軽に話し合いが出来る様にしたい	カップル見合いが非常に少ない	ホタルが飛び交う宮川	コンクリートで固められた宮川
震災時のヘリコプターの発着場	現場は水路のつまった池になっている	自治会全戸加入の蕪崎	アパート入居者が自治会未加入		
津波対策ができた地域	津波対策が不十分				
子ども		教育			
若い働き手を増やす	子どもが少なく活気が無い	外国人の先生を優先的に雇い英語を話せるようにしてもらいたい	英語の先生は単語、文法のみ教育をしている、現場での語学はない		
休みの日は子どもの遊ぶ声が聞こえる	子どもが少なく休みの日でも子どもの遊ぶ声がほとんど聞こえない				
元気な蕪崎	寂しい蕪崎				

第2班 「あるべき姿」(理想・夢)と「現状」

理想・夢	現状	理想・夢	現状	理想・夢	現状
子育て環境		参加者不足		防災	
地区に運動公園等がほしい	圃場整備にて作った公園を活用	地区運動会の復活	参加者の減少	災害に強い地域づくり	自主防災組織の活動が活発でない
子どもが安全に遊べる施設がほしい	遠くに行かないと広場がない	地域あげて参加しにぎやかなお祭やイベント	参加者不足	救急車や消防車が通れる広い道	道がせまい
小学生の通学の安全を図るため交通安全施設の整備を進める	地元地区より各関係箇所に要望	自治会への多くの参加	自治会の参加不足	蕪崎地区は町並みの進入路がせまく災害(特に火災)等に消防自動車が入れるように	防災組織を作ろうと思い自治会長時に活動をしたが
安心して子育てできる環境	通学路の危険防止				
若い人が定着する働く場所	働く場が少ない				
若者が住める地域にしたい	現状では道路が狭いため車両が出入りできないため新築の家を作らないで他地域に行くことが多い				
救急病院がほしい	救急病院が遠い				
地区の美化		高齢者			
海岸の掃除	海岸の汚れがひどすぎる	大型ショッピングモールがほしい	個人商店しかなく遠くに行かないと無い		
ゴミの無いきれいな海岸	不法投棄が多い	タクシーの補助金	高齢者の移動手段ない		

第3班 「あるべき姿」(理想・夢)と「現状」

理想・夢	現状	理想・夢	現状	理想・夢	現状
防災		生活道		環境	
災害に強い蕪崎	海拔1～2m、台風時道路が雨水があふれ判らなくなる	広い道路	道路が狭くて車が入らない場所が多い	きれいなゴミステーション	老朽化してきたない
安全な町にしたい	火災等で消防車が入らない	住宅地の道路が広がってほしい	道路が狭い	空気のきれいなまちに	工場の臭いがすぐく人の生活に影響
排水をよくする	排水溝が整備されていない中浄化槽設置が進んでいる	救急車が通れるようになってほしい	道路が狭く排水も悪い	市や地域の情報がよくわかる	市や地域からの放送が聞き取りにくい
蕪崎地区一体化した防災組織	防災組織自治会で説明するも全員が同レベルの認識なく、個人情報問題にて各戸の状況が明かせない	子どもの通学路の改善	小学校への道が危ない	地区内防犯灯の見直し追加	費用の関係で暗い場所が多い
震災の場合高い所への避難	蕪崎地区は低い	各道路の整備と排水溝の整備	道路の凸凹が多く地区内より苦情がでている		
自治会		高齢者		就職先	
盆踊りの復活など出来るだけ人寄りできるものがあればよい	人手が少なく高齢者になると出にくい	高齢者が安心して暮らせる	健康に不安を感じている近所で声かけあっている	地域内に働く会社、工場があれば良い	町内に企業が少ない
活発な自治会活動	関心が薄い	地区の家族、各戸の人員構成が分かればよい	地区内独居老人が増えている、知らない人が多い	働く場所の確保	働く場所が少ない
良好な自治会運営	世話役がイヤ	空き家対策	空き家が増えた		

第4班 「あるべき姿」(理想・夢)と「現状」

理想・夢	現状	理想・夢	現状	理想・夢	現状
防犯		商業施設		組織づくり	
パトロール	防犯	コンビニが多い	コンビニが少ない	婦人会出来ればいい	婦人部つくる
一人暮らしの人が安心して住める	一人暮らしの人はいますか？	娯楽施設がある	娯楽施設があまりない	子育ての不安を気軽に話し合える乳幼児を連れて遊ばせながらほっとできるような場所	子育てサロン
子どもが安心できるまち	路地も多く夜は暗い、人目が意外と少ない	食堂	食堂がない	愛護班の活動で子育て世代と他世代の交流ができて一緒に楽しんで協力し合える街	愛護班の活動内容が役員経験者以外に認識されていない、公民館祭への協力体制は感謝
街灯が整備されている	夜になると暗いのでは	お母さん達や高齢者が気軽にお茶できるような場所	座談会などはあるけど、気軽に寄れるような場所はない	地域住民がみんな顔と名前知っている	全員とまではいかないのでは
街灯明るく	暗い道が多い				
情報が共有(伝達)できる	情報の伝達手段がない	道路		防災	
		道幅がゆったりしている	道幅がせまい	防災づくり	防災活動なし
		歩道が整備されている	十分整備されているとはいえない	河川広く	川幅がせまい
いこいの場					
いこいの場、公園がある	いこいの場、公園が良い場所にならない	人口		イベント	
子どもが集まって遊べる場所があれば	お宮など古い遊具、暗く人目につきにくい	小学生いっぱい	小学生が少ない	祭り参加人数増やす	祭り参加人数少ない
花、緑地	あれ地	若者が多くいる	若者が少ない	プランターに花を植える、各家の前	花(プランター)で村の道をまもる
交通		住宅		農業	
公共交通機関	車がないと動けない	区画が整備されている	旧道がせまく曲がっている	農業の後継者	農業者の高齢化

第5班 「あるべき姿」(理想・夢)と「現状」

理想・夢	現状	理想・夢	現状	理想・夢	現状
協力		次世代育成		防災	
地域の人が気軽に集いあえる場や行事	地域から様々な行事がなくなり、顔と顔をあわせる機会が少ない、スクラップばかりでビルドがない	〇〇会の次期会長の心配ない	〇〇会の次の会長が難しい	自主防災組織全員参加する	自主防災組織は出来たが訓練が出来てない、活動出来ない
地域だけの行事をやる	全体でまとめて1つの行事しかやらない	つながりが良い	年代別のつながりは良いが年代間のつながりが薄い	津波等に対する避難場所がほしい	燕崎地区には高台や高い建物が無い
青年団員が多くなってほしい	消防団と太鼓台の青年部をけちもち	全戸の人が行事に参加し盛り上げる	役員だけで取り組むので難しい現状	自主防災会がすべての地区にできる	自主防災が乾、公民館、上談などにはあるみたいだが情報が入らない
自治会には各戸1人は出席してほしい	自治会半数位しか出席がない	婦人会がある	人が少なく役が重なっている		
人権が大切にされるまちづくり	ふれあい座談会等 人権に関わる会の参加者が少ない				
新しいものが次々作られていくまち	昔はあったものが無くなってきている(人が集まらないから)				
地域全体で子育てを見守る	子どものいる世帯とそうでない世帯との結びつきが薄く感じる				
他の自治会の情報が交換できる	自治会同士の情報が入りにくい	子ども		環境	
顔の見えるやりとりが多いまち	集金の機会も減り顔の見えるやりとりが減っている	三世代交流に中学生も参加できる	三世代交流に中学生になると参加しない	スーパーが近くにある	スーパーがない
		地域に子どもたちがたくさんいる	子どもの数が減った	バスがあればいい	交通関係がわるい、バスがない
		ガキ大将が率いて学年に限らず連れ合う	遊びより勉強優先で異年代のつながりが少ない	子どもが集まる遊べる公園がほしい	公園はなく公民館ぐらい

